

令和 7 年度
消防吏員活動服（上下）仕様書

人吉下球磨消防組合

消防吏員活動服（上下）仕様書

1. 概要

この仕様は、当組合における消防吏員向け立体型活動服(上下)について定める。

2. 総則

- (1) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき所属ごとにまとめて納品すること。
- (5) 組合が証明書の提出を求めた場合は、落札者は使用生地についての紡績メーカーが発行した品質並びに原反出荷引受証明書を提出すること。
- (6) 納入業者は早急に試作品を提出し、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (7) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。

3. 品名及び数量

消防吏員用活動服上衣	厚生地	T X9000 V R 2	4 3 枚
消防吏員用活動ズボン	厚生地	T X9001 C D	4 8 本

4. 納期 令和7年12月26日

5. 形式

(1) 上衣

台衿付きレギュラーカラー、前立て虫隠しファスナー、両胸ファスナーアウトポケット付、左右胸ヨーク切り替え、肩章付き、カフス付きファスナー止め、右胸階級台マジック付き、背ヨーク切り替え、裾シャツ型

(2) 下衣

ワンタック、両脇ポケット、両大腿部カーゴポケット、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ8本付、左右後片玉縁ポケット（左釦止め）、裾シングル仕上げ、ウエスト全周囲ストレッチ機能

6. 主材料（別紙参照）

使用表生地材料

ア 素 材 : 東レ 難燃ストレッチトロピカル S 2 4 1 8 T S / 夏
東レ 難燃ストレッチツイル S 2 4 1 2 T S / 冬

イ 混紡率 : メタ系アラミド 7 3 % パラ系アラミド 5 %
難燃ポリエステル 2 0 % ポリウレタン 2 %
導電性繊維混入

ウ 色 相 : C / # N T B (指定色)

使用副生地材料

ア 素 材 : 東レ 難燃ストレッチトロピカル N X 4 8 4 8 S / 夏
東レ 難燃ストレッチツイル N X 4 0 4 0 S / 冬

イ 混紡率 : メタ系アラミド 9 4 % パラ系アラミド 4 %
ポリウレタン 2 %
テクノクリーン加工付
導電性繊維混入

ウ 色 相 : C / # レッドオレンジ (指定色)

7. 縫製条件

ア. 針 数

3 c m間で地縫いは1 2針以上、飾り縫いは1 2針以上、オーバーロックは8針以上とする。

イ. 穴かがり

上衣は平穴、下衣は鳩目穴小門止めとする。

ウ. ボタン付け

機械付け、又は手付けとする。

手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とする。

エ. 裁 縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

オ. デザイン

FATHデザインに基づく立体構造のものとする。

カ. サイズ

体形に合わせてA体はスリムに、B体は若干のゆとりをもったサイズ構成をとること。

8. 縫製要領

(1) 上衣

ア. 衿

衿には芯を入れ、表衿端に 12mm 幅のトリミングを入れ周囲にステッチをかける。ステッチ糸は表裏に同系色でかける。台衿は表裏を縫い合わせ、台衿で上衿を挟み地縫いし表よりステッチで押さえる。

イ. 前立て

左右前身頃の端にファスナーを挟み縫い、端より 10mm の位置にステッチをかけ、更にファスナー付けのダブルステッチを下までかける。ファスナーはムシ隠しとする。

ウ. 胸ヨーク

左右前身の胸の辺りで切り替え、上身頃側へステッチをかける。

左胸に個人名（苗字）を金茶色で刺繍する

エ. 肩章

表裏を縫い合わせ先三角形型釦止め、肩付け位置幅 50mm、長さ 150mm とし、周囲には 6mm ステッチをかける。肩先側は袖付け根に挟み、袖側より 40mm 入った位置で縫い止め、その間にクロスステッチをかける。肩章先は穴かがりの釦止めとする。表裏とも配色生地を使用し、釦はオレンジ色を使用する。

オ. 胸ポケット

左右の胸ヨーク切り替え線にアウトポケット上部を挟み付ける。

ポケットは左右の胸ヨーク切り替え位置より 25mm 下に両玉縁切口を設け、外側にて閉じるファスナー開閉式とする。口幅 140mm、中心の深さ 145mm とする。左胸ポケットの中には 2 本用のペン刺しポケット、右胸にはマチ付小物ポケットを付けること。

カ. 胸マジック台座

右胸切り替え位置より 15mm 上、フラップの長さの中心やや脇側に 25mm 幅×長さ 40mm のマジックテープ（メス）を取り付ける。※階級章用

キ. 背ヨーク

1 枚仕立てV字型ヨークとし配色生地を使用する。後部背切り替え、前肩は肩章付け辺り位置で切り替える。切り替え線のヨーク側に 6mm 幅のステッチをかける。袖側にも 6mm 幅のステッチをかける。大きさは中心で約 19cm（サイズにより変動）とする。

また、背身と前身ヨークとの境目には蓄光反射素材をパイピングする。

背ヨーク中央に「人吉下球磨消防本部」「HITOYOSHI SHIMOKUMA」と 2 段で紺色圧着プリントをする。（消防本部指定の大きさ・字体とする）

ク. 脇身頃

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下に重ね布式ベンチレー

ションホールを設ける。ベンチレーションホールの上端は三つ折り始末をし、コバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。ベンチレーションホールの下端は二つ折りでオーバーロック始末し、6mm幅ステッチをかける。ベンチレーションホールは袖下布を上 に脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせる。前後身頃側に 6mm 幅のステッチをかける。

ケ. 袖

2枚袖のカフス幅 60mm 付きとする。袖口に 2 本タックを取り、長さ約 160mm のファスナーを設ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナー仕様とし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。

コ. 後身頃

後身頃は、ヨークと縫い合わせヨーク側へ 6mm 幅のステッチをかける。

サ. 裾

シャツ型とし、三つ折り始末とし 5mm 幅ステッチをかける。

シ. 片布・品質表示

左胸ポケット位置の身頃裏面に付ける。

ス. 衿吊り・サイズ表示

衿吊りは衿後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

セ. 腕用ワッペン台座

右袖山中央より前側 8 c m 下りの位置に発注者が指定する形状のワッペン台座を縫付ける。

(2) 下衣

ア. 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ. 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35mm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、閉止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ. 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各 1 個付ける。ポケット口の長さ 160mm とし、口の上下端に閉止めをする。口にはコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫い付ける。

エ. 後

左右のウエストに各1本のダーツを取り、内側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間(中心寄り)にベルト付け下より裾まで切り替え、脇側の方へ6mm幅ステッチをかける。後身を切り替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切り替え下身頃側へ6mm幅ステッチをかける。

オ. 後ポケット

左右後に口幅10mm、口の長さ145mmの片玉縁ポケットを各1個付ける(玉縁作りミシン可)。ポケット周囲はコバステッチをかけ、口の両端は門止めをする。ポケット向こう布(表地)とし、袋布とはぎ合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。左後ろポケットのみ穴かがりボタン止めとする。

カ. カーゴポケット

両大腿部横に左右マチ付の上辺210mm、長さ240mmのアウトポケットを付ける。ポケット口はファスナー開き170mmの突合せとし、玉縁の上下端はコバステッチをかける。

キ. 腰帯

マーベルト付きとし、幅約40mmにストレッチ芯を貼り、ウエスト全周でストレッチ性を出す事とする。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ファスナー上の前中心に前カンを付ける。

ク. ベルトループ

ベルト通し幅60mm、長さ20mmのものを前タック位置、脇、後ダーツ位置、後2カ所、合計8本付ける。ループ幅の両端はステッチをかける。

ケ. シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。

コ. 裾

裾はシングルにて、貸与者の股下寸法に合わせてタタキ仕上げとする。

サ. 脇縫い

後へ片倒しとし、6mm幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ. 内股縫い

縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とする。

ス. サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

セ. 片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

